

■ 久慈川 産卵場造成地にアユの卵を確認!!



久慈川漁協が10月17日および26日に常陸大宮市辰ノ口地先の久慈川でアユの産卵場造成を実施しました。

バックホーを用い河床を**フカフカに耕す**ことで、17日は**約3,000 m²**、26日は**約2,000 m²**のアユの産卵場を造成しました。

造成効果を確認したところ、17日に造成した産卵場では残念ながら4日後の降雨と増水により産卵場の埋没や消失が確認されましたが、26日に造成した産卵場では、造成後5日目には**約700 m²**の範囲に卵が産みつけられており、その数は**約3,800万粒**と推定されました。さらに、造成後15日目には新たに**約600 m²**の範囲に卵が産みつけられており、**約9,800万粒**と推定されました。

アユは約2週間で卵からふ化し、仔魚は海へと下ります。来年、多くのアユが遡上することを願っています。